

平成30年12月20日から12月31日まで

# 年末防火運動



皆さまのご協力をお願いします

年末の慌しさのなか、火の元の管理がおろそかになりがちなのこの時季に、皆さま一人ひとりの防火意識をより一層高め、家庭や職場から火災をなくしましょう！

**地域の連携強化** 地域に密着した火災予防を推進するため、住民、消防団及び自主防災会と連携し、火災発生時における地域ぐるみの協力体制を強化してください。

**放火の防止** 放火を防ぐため、建物周囲の整理整頓及び施錠等を各家庭で心掛けるとともに、地域における監視・協力体制を強化してください。

**火気使用機器の正しい取扱い** 石油ストーブなどの火気使用機器の使用は、機器の安全チェック、正しい使用方法、安全な場所、確実な後始末を徹底してください。

**住宅用火災警報器** すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されていますので、住宅用火災警報器の設置や定期的な維持管理を行うなど、住宅防火対策に努めてください。

**着衣着火の防止** 調理中のガスコンロの火や仏壇のろうそくの火などが着ている服に燃え移ることのないよう火を扱う際には、袖や裾が広がっている服を避けるなど、着衣着火に十分注意してください。

## 全国統一標語

『忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認』

### 火の用心 ~7つのポイント~

- 1 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 2 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- 3 天ぶらを揚げるときは、その場を離れない。
- 4 家庭や事業所では、たき火をしない。
- 5 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
- 6 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- 7 ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

### 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

- 1 寝たばこは、絶対にやめる。
- 2 ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- 3 ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 4 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 5 寝具・衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 6 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- 7 お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

亀岡消防署予防課予防係 22-9583

# 年末大掃除で火災予防を！！

年末の大掃除は、家がきれいになるだけではなく、**火災予防** につながります。火災危険を未然に取り除き、安全・安心な年始を迎えましょう！

## コンセント周りをきれいに！

コンセントプラグを長い間差したままにしていると、ほこりや水分がたまり、火災を引き起こす危険があります。(トラッキング現象)

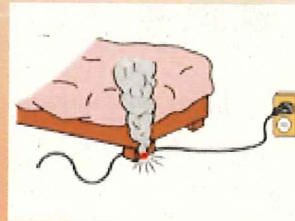
水分を含まない乾いた布などで掃除しましょう！



## 電気コードをチェック！

電気コードがタンスなど家具の下敷きになると、電気コードがショートし、火災を引き起こす危険があります。

年末大掃除の機会に各電気コードを確認しましょう！



## コンロ周りをきれいに！

コンロ周りや魚焼きグリルに溜まった油かすや油汚れは、火災を引き起こす危険があります。

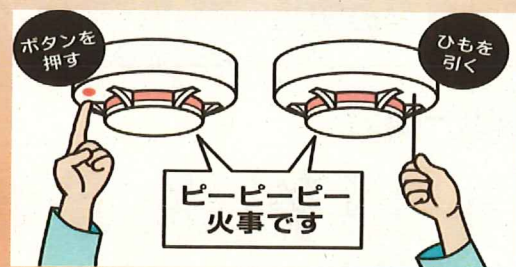
コンロ周りをきれいに清掃しましょう！



## 住宅用火災警報器もチェック！

天井周りの掃除の際には、住宅用火災警報器の作動チェックを行いましょう！

試験音が鳴らなければ、異常ですので、「電池切れ」又は「故障」が考えられます。



## ごみは正しい処理を！

大掃除で出たごみの焼却行為は、やめましょう！

ごみは、指定された日に出し、放火に注意しましょう！

また、カセットコンロのガスボンベは、正しい処理方法でガスを完全に抜き取りましょう！

